



眞嶋 亀夫さん  
(塩野)



カブトムシ園

私は兼業農家ですが、遊休農地の増えていることが気にかかり、現在遊休農地活用等の、二つの会に入っております。一つは塩野中山間地営農組合の有志の「てばゆかい」です。中山間地の管理地と他の遊休農地にて、蕎麦の栽培を18人の会員で楽しくゆかいに共同作業をし、そばをうちそ

ばゆをいただき、たまにはゆ(温泉)に行こう、という会です。昨年は450aの作付けでした。

もう一つの会は「まちづくり協議会みよた」と言います。毎年11月23日栄町公民館にて、新そば交流会をおこない6回を数えました。大勢のボランティアの皆様ありがとうございます。

御代田の蕎麦栽培地は最高地で標高1km、幻の霧下蕎麦を自分達で有機栽培しています。この借地は荒

廃農地を県の元気づくり支援金を受け60a開墾しましたし、そばの講演会も2回行いました。この会は町の活性化について、計画、立案、実行等、多様に行っております。寺沢上の大樹の国有林内には「いやしの小径」という遊歩道を作り初夏・秋には散策の人がけっこう来ます。

町民の森の中には「カブトムシ園」もあります。毎年学校が夏休みに入るころ一週間ほど子どもたちに朝一時間開放し、初日にはカブトムシ教室を行い、カブ

トムシや昆虫について勉強会をします。年々来る子どもが増えています。また一昨年は、「蝶の夢街道」として、面替地区のアサギマダラの会の了解を得、町の補助金を受けて、かりん道路沿い・カブトムシ園・西軽地区等にフジバカマを植え、昨秋には植栽地にアサギマダラを確認しました。



まちづくり協議会みよた「いやしの小径」「カブトムシ園」整備事業

このような事業が、町の活性化及び青少年健全育成に、役立つことと思います。



新年も1カ月が過ぎ立春を迎えましたが、寒さの一番厳しい時期です。

寒中お見舞い申し上げます。昨年は「おもてなし」・「やるなら今でしょう」など

「輪」と発表されました。御代田町でも、町民のみ

なさまが心配されていたメルシャン美術館跡地を町土地開発公社が取得したり、

新クリーンセンターの環境アセスメントが開始されるなど、より住みやすい町づくりにむけた施策が、一歩一歩順調に進んだ一年であったと思います。

またゆるキャラの(みよたん)も県内で4位、全国でも108位と健闘しました。

町の流行語と漢字一文字はどのようなものが選ばれるのでしょうか。もし開催されればおもしろい町になるのかなと、思ったりもしています。

今年、4月に国民健康保

険税が値上げになり消費税も8%になりますが、未満児保育も充実され、夏には待ちに待った栄橋が完成し交通の不便が解消されます。心配なことも嬉しいこと

野元 三夫

